

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（擁壁工）積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<div>別紙 1－⑧</div> <div>森林整備保全事業 I C T 活用工事（擁壁工）積算要領</div> <div>1. 適用範囲 本資料は、3次元設計データを活用した擁壁工（以下、「擁壁工（I C T）」という。）に適用する。</div> <div>2. 適用工種 ・擁壁工 ・土留工（山腹基礎工）</div> <div>3. 3次元起工測量及び3次元設計データの作成費用 3次元起工測量及び3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、見積り等を活用し必要額を適正に積み上げるものとする。また、当該費用は間接費を含む額とし、現場管理費や一般管理費等の対象額に含めないこととする。そのほか、下記の費用に関しては、間接工事費に含まれることから別途計上の対象とならない。 ・3次元起工測量 基準点等の設置（従来の起工測量に含まれるもの） ・3次元設計データ作成 設計図書の照査に関する作業 その他協議図面作成に関する作業 完成図書作成に関する作業 費用の計上について、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとし、発注者は費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とし、受注者から見積りの提出がない場合は、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。 また、前工事及び設計段階での3次元設計データを活用した場合、発注者が貸与する3次元設計データを活用した場合は、費用計上しないものとする。 なお、「3次元起工測量・3次元設計データの作成費用」については、当初設計では計上しない。</div> <div>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 （1）出来形管理の計測範囲において、面的に座標を取得し、ソフトウェア上で面の法長・高さ等の出来形管理を実施し、工事検査前の工事竣工段階の目的物について点群データを取得し、3次元データ納品を行った場合、標記費用の対象とする。 費用の計上方法については、受注者より提出された見積りにより費用の妥当性を確認することとし、官積による算出方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。ただし、擁壁工（I C T）と同時に実施するI C T 活用工事（土工）において補正係数を乗じる場合は適用しない。 なお、受注者は、発注者からの依頼に基づき、見積書を提出するものとする。 また、受注者から見積りの提出がない場合は、3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。 ・共通仮設費率補正係数 ： 1.2 ・現場管理費率補正係数 ： 1.1 【 削 除 】 上記経費の対象となる出来形管理は、以下の1）～5）とし、それ以外の森林整備保全</div>	<div>別紙 1－⑧</div> <div>森林整備保全事業 I C T 活用工事（擁壁工）積算要領</div> <div>1. 適用範囲 本資料は、3次元設計データを活用した擁壁工（以下、擁壁工（I C T）【追記】）に適用する。</div> <div>2. 適用工種 ・擁壁工 【 新 規 】</div> <div>3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用 3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、【追記】必要額を適正に積み上げるものとする。【追記】</div> <div>4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 （1）3次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び3次元データ納品を行う場合における費用の計上方法については、共通仮設費率、現場管理費率に以下の補正係数を乗じるものとする。【追記】 ・共通仮設費率補正係数 ： 1.2 ・現場管理費率補正係数 ： 1.1 ※小数点第3位四捨五入2位止め 上記費用の対象となる出来形管理は、以下の1）～4）とし、それ以外の【追記】I C</div>	

新 旧 対 照 表

【 森林整備保全事業 I C T 活用工事（擁壁工）積算要領 】

改 正 後	現 行	備 考
<p>事業 I C T 活用工事（擁壁工）実施要領に示された出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。</p> <p>1）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>2）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>4）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>5）上記 1）～ 4）に類似する 3 次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>（2）費用計上に当たっての留意事項</p> <p>1） 「3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、当初は計上しない。</p> <p>2）受注者からの見積り又は補正係数で乗じた額での費用計上方法は以下のとおりである。</p> <p>①補正係数を乗じて算出される金額を計上する場合</p> <p>・補正係数を乗じて算出される金額<受注者からの見積りによる金額</p> <p>②受注者からの見積りによる金額を計上する場合</p> <p>・補正係数を乗じて算出される金額>受注者からの見積りによる金額</p>	<p>T 活用工事（擁壁工）実施要領に示す、その他の出来形管理の費用は、【追記】 共通仮設費率及び現場管理費率に含まれるため、別途計上は行わない。</p> <p>1）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>2）地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理</p> <p>3）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理</p> <p>4）【 新 規 】</p> <p>5）上記 1）～ 3）に類似する 3 次元計測技術を用いた出来形管理</p> <p>（2）費用計上に当たっての留意事項</p> <p>1） 3 次元座標値を面的に取得する機器を用いた出来形管理及び 3 次元データ納品を行う場合は、費用の妥当性を確認することとし、受注者からの見積りにより算出される金額が、（1）で算出される金額を下回る場合は、見積りにより算出される金額を積算計上額とする運用とする。</p> <p>2）受注者から見積りの提出がない場合は、3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用は計上しないものとする。</p>	